

日本トーターがファンサービスにiPadを導入

初心者に優しい競輪場を目指しサービスを開始



公営競技場の情報処理機器、

情報表示装置など場内システム
保守とシステム総合メンテナンス
を運営する日本トーター株式
会社（福島晋社長、本社東京都
品川区）。ここ数年は競輪・オ

ートレース場など計11公営競技
場の投票業務全般や警備、施設
管理、企画、宣伝等の総合運営
を請け負う民間委託企業のパイ
オニアとして知られている。

その日本トーターが昨年来世
界IT業界の話題を独占、日本
国内でも市場を席捲している米
国・アップル社製のタブレット
型メディアプレーヤーコンピュ
ータ「iPad」を今秋から、
競輪初心者へのファンサービス
の一環として導入する。

公営競技界初めての新企画

「iPad」使用のファンサー
ビスは10月1日（土）F1開催時
の開門時から最終レースまで埼
玉県所沢市・西武園競輪場入場
ゲート付近及び案内受付で開始
する。

指先で軽くディスプレイ画面
に触るだけの操作でネットサー
フィン、ゲーム、動画撮影、映
画鑑賞、読書などを楽しめる最
先端のIT機器「iPad」。

現場のスタッフが「iPad」
で初心者に親切・丁寧に対応

当日は「iPad」を持った
西武園競輪場のスタッフが初心
者に対し、専用アプリや動画を
用いて様々な案内を行う予定だ。
まず、現場スタッフが「iP
ad」の画面に指先で軽くタッ
チすると競輪初心者入門「バン
クバイエル（競輪教本）のコー
ナーが表示される。

画面には「マークカード」「賭
式」「レース」「出走表」「用語

